

2022年8月1日
東京海上ホールディングス株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

新・本店ビルのデザインについて ～国産木材を使い木の使用量が世界最大規模となる高さ100mの「木の本店ビル」へ～

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長グループ CEO 小宮暁)および東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長広瀬伸一)は、東京海上日動ビル本館および新館を一体で建て替えて建設する新・本店ビルのデザイン(基本設計)をまとめました。

新・本店ビルのエクステリアは、「丸の内」の街並みに調和し、日本の玄関口である東京駅と皇居を結ぶ行幸通りに面した場所に相応しい洗練された気品のある佇まいを表現しました。

デザイン上の重要な役割は木材が担っています。新・本店ビルは、構造部材である柱、床に国産木材をふんだんに使い、木の使用量が世界最大規模となる高さ100mの「木の本店ビル」として生まれ変わります。

木材は、成長の過程でCO₂を吸収・貯蔵する機能を持つ、環境にやさしい優れた建築素材とされています。新・本店ビルは、国産木材を大量に使用することなどにより、一般的なビルに比べて建築時のCO₂排出量を3割程度削減することに加え、高効率の設備や地域冷暖房の採用、使用電力に100%再生可能エネルギーを導入するなどの施策により、省エネルギーの推進、脱炭素社会の実現に貢献します(※)

また、戦後植林された多くの樹木は利用期を迎えていると言われており、大きな需要の創出が我が国の森林、林業の再生に不可欠とされています。東京海上グループは、新・本店ビルに最新技術の耐火国産木材を大量に用いることにより、それが我が国の林業の再生や地方における雇用の創出、ひいては地方創生、地域循環型経済の構築に寄与することを願っています。

東京海上グループは、1879年8月1日に「東京海上保険会社」が日本初の保険会社として誕生して以来、お客様や地域社会の”いざ”を支えながら持続的に成長してまいりました。新・本店ビルは、次の50年、100年に亘って、より一層進化するグループのグローバル経営の中心であり続けると共に、丸の内で初めて地上部分を全館免震とするなどの高い災害対応力や、国産木材の利用など、サステナブルな社会の実現に貢献するグループのパーパス(存在意義)を象徴する存在となることを目指します。

※:新・本店ビル計画は、2022年2月27日、国際的なグリーンビルディングの認証プログラムであるLEED®のv4における「LEED® for Building Design and Construction: New Construction」の категорияで最高レベル「Platinum」の予備認証を取得しました。

1. デザインについて

① エクステリア ～立ち並ぶ力強い大木が人々に「安心」を与えるデザイン～

新・本店ビルでは、ビルを支える柱の多くに木材を使用すると共に、床の構造材としてCLT（直交集成板）を用いることなどにより、可能な限り多くの木材を使用する予定です。

立ち並ぶ木の柱は、幾年もの長い月日をかけて成長し、集う人々に「安心」をもたらす存在となった力強い大木をモチーフとしており、新・本店ビルのデザインの重要なエレメントとなっています。



木材がふんだんに使われた柱や床は、季節や時間の移り変わりによって繊細に表情を変えるガラスのファサードに包まれ、美しく印象的な「キューブ（立方体）」を形作っています。このキューブのデザインは、ビジネス・歴史・文化が共存する街「丸の内」の街並みとの調和や行幸通りに面した場所に相応しい気品や洗練された趣き、訪れる人の視点でのヒューマンスケールなど、様々な観点についてデザイナーと慎重に議論を重ねた結果、生み出されました。

② ランドスケープ ～静寂と憩いをもたらす屋上庭園～



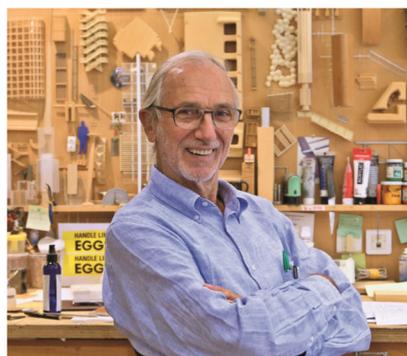
新・本店ビルの屋上には、都心の喧騒にありながら、人々にひと時の静寂や憩いをもたらす緑豊かな庭園を計画しました。この庭園とエントランスの中央の「パティオ(中庭)」と呼ばれるスペースに植えられた樹木、さらにビルの周囲に配された樹木は、皇居外苑と新・本店ビルをシームレスに結びつけ、訪れる人が季節の移ろいや自然のぬくもりを感じられる空間を形作っていきます。

③ デザイナー

新・本店ビルのデザインは、1998年にプリツカー賞を受賞した世界的な建築家であるレンゾ・ピアノ氏が主宰する設計事務所、Renzo Piano Building Workshop (RPBW) が担当しました。東京海上グループの新・本店ビルは、世界中で多くのプロジェクトを手掛ける RPBW が日本においてデザインを担当する初めてのオフィスビルとなります。レンゾ・ピアノ氏は、東京海上グループのパーパスや、新・本店ビルが持つ意義に深く共感しており、今現在も、RPBW は株式会社三菱地所設計と協働しながら多くのチャレンジングな取組みを推進しています。

レンゾ・ピアノ (Renzo Piano)

1937年イタリア・ジェノヴァ生まれ。1964年ミラノ工科大学卒業。1981年 Renzo Piano Building Workshop 設立。ロンドンのザ・シャードやニューヨークのニューヨーク・タイムズ・ビル、ホイットニー美術館など、世界中でこれまでに140以上のプロジェクトを手掛ける。日本においても関西国際空港ターミナルビルなどの実績がある。



2. スケジュール

2022年10月 東京海上日動ビル本館および新館解体着工

2024年12月 新・本店ビル建築着工

2028年度 新・本店ビル竣工

3. データ

所在及び地番	東京都千代田区丸の内1丁目6番1
敷地面積	10,147.61 m ²
主要用途	事務所(本店ビル)、駐車場等
構造	S造/木造/SRC造
規模	地下3階、地上20階、塔屋2階
建物高さ	約100m
延床面積	約130,000 m ²

設計	Renzo Piano Building Workshop、株式会社三菱地所設計
施工(予定)	株式会社竹中工務店、株式会社大林組、清水建設株式会社、鹿島建設株式会社、大成建設株式会社、戸田建設株式会社による共同企業体

東京海上グループは、これからもステークホルダーの皆様とともに、災害レジリエンスの向上、健やかで心豊かな生活の支援、気候変動対策の推進、D&I の推進・浸透に繋がる取り組みを通じて、SDGs の達成に貢献してまいります。



上記の記載内容は、いずれも本ニュースリリースを発表した時点のものであり、今後の検討によって変更する場合があります。

以上